

私のコールサインは、7K1FRK
災害非常時に備えて 非常通信協力会に入会

[加藤 文男](#)

小生は、「非常通信協力会港北支部」(以下港北支部という)の一メンバーである。非常通信協力会の正式名称は、「横浜市アマチュア無線非常通信協力会」という。

非常時に備えて、横浜市と「災害時に備えたアマチュア無線機器の円滑な運用に関する協定」を結んでいる。つまり、大地震など災害発生時の情報の収集及び伝達にメンバーが協力するというものである。

大きな地震は、いつ発生してもおかしくないといわれている。これに備えて港北区には、小中学校 28 箇所地域防災拠点がある。震度 5 弱以上の地震や警戒宣言が出されたときなど我々会員は、横浜市長、又は、港北区長の要請あるいは、自発的に地域防災拠点にかけつけ、情報収集とその伝達を行う。全てボランティア活動で毎年年度末に総会を開催し、年度の活動報告と次年度の活動方針を確認する。通常の活動は、毎年、春と秋 2 回の「防災拠点への情報受伝達訓練」があり、これに参加する。

平成 17 年度には、港北区内の 22 の防災拠点にて訓練が実施され、区本部(港北区役所)との情報伝達訓練をした。このほかに新横浜駅前、横浜アリーナにおいて、帰宅困難者対策訓練も開催され、区役所との間の非常通信実験を行った。小生は、自宅近くの地域防災拠点である篠原小学校と新横浜における訓練に参加した。

アマチュア無線通信は、大地震など災害時には、携帯電話や E メールに代って情報の伝達的手段として威力を発揮する。携帯電話は、災害発生時は通信が制限され使えない。E メールも電話回線の断線があると使用できない。アマチュア無線機は、停電時でも乾電池や蓄電池の使用で通信が可能になる。皆さんの自宅付近でも、アマチュア無線を使用した非常通信協力会メンバーがおられるので「非常時の際の通信手段」として知っておかれると良いと思う。

ちなみに小生は、平成二年に趣味としてアマチュア無線技師電話級の免許を取得した。コールサインは、7K1FRK である。その際会社の友人に手伝ってもらい、屋根の上に小さなアンテナ台を建設し、7MHz、21MHz 用の V 字型のアンテナと TV アンテナより少し大型の 50MHz 用のアンテナを設置した。しかし、その頃からパソコン通信が始まり、仕事の関係もあり、アマチュア無線から遠ざかってしまった。最近台風シーズンには、アンテナの台も倒れると危険なので取り外してしまった。定年退職と共に非常通信協力会からの誘いもあり、140MHz と 430MHz 用のホイップアンテナをベランダに設置して再び運用を開始した。現在は、数名の友人との定期的な夜間の運用で無線機を常に使用できる状態にし、非常時に備えている。

アマチュア無線は、昔から趣味の王様といわれ人気が高かったが携帯電話の普及やパソコンによる E メールで減少してきた。最近では、E メールでのウイルスの増大、個人情報保護などトラブルのため、再び増加の傾向にあるという。

また、港北支部では、災害時の非常通信のために年に 2 回ほどアマチュア無線の資格取得のための講習会を開催している。資格取得は難しくはない。希望者があれば参加できるのでご紹介し、応援したいと思う。